

刊夕 日一月七

# 常警每日新聞

定価 一紙一円  
 一ヶ月五拾五銭 郵費五拾  
 廣告料五號十二字第一行五拾銭  
 日曜祭日の翌日休刊  
 発行所 常警毎日新聞社  
 印刷所 常警毎日印刷株式会社

## 定散の二善

眞 繼 雲 山

若し悟りも開けず、善事も修得られない凡夫であるとしたら、何んと致したものであらうかといふ問ひに對して、釋尊は觀經の終りに於て

佛告阿難、汝好持悉語、持是語者、即是持量無壽佛名。

(譯)汝よくこの語をたもて、此の語をたもてとは即ちこれ無量壽佛のみ名をたもてといふことなりとは申された。斯くて釋尊は定善十三觀も出來ず、散善三觀すらも出來ないものは南無阿彌陀佛と念佛せよと申されてゐるのである。

善導大師この結論に着目せられた。汝よくこの語をたもてとある力強い前提に寶庫の開く秘鍵を發見せられて結局、大師が釋尊所説の結論としてつかされたことは、

もと／＼人間には定善も散善も出來るものではないが、順序として一應述べられたので、佛の眞意は定散二善の出來ないものは念佛せよといはれてゐることは、念佛以外に衆生の往生を得る道はないといふのにあるのだ

と裏書されてゐる。善導大師はこの裏書によつて結着を得られた事と思はれる。さうしてその結着が慧心、法然、親鸞を次第相承して我が國の淨土門は大成されたのであつて、念佛往生の義は佛説三千年を一貫せる信の一道である。

三千五百年前、靈山會上の佛説は、時と共に流れてゐるがこれを求めるものは逆に先人領解の跡を辿りさかのぼりてそこに一脉のたましいの流れをしつかりとつかみ得る。斯くて信仰の領解、安心の正流は毫末もあやまるところはない私たちもまたこの先人流に預り入らねばならぬ。

### 高月會句抄

・六月例會。

短夜の月残りけり向山  
 短夜や仲間の部屋の蚤退治  
 明易き波よけ地蔵見て歸る  
 短夜や田の面に水引き切れず  
 まとろへは早白々と露白し  
 短夜をひろげしまゝの「ノート」かな  
 蚊になやむ山の旅寝や明け易し  
 短夜や昨夜の癪のおさまらず  
 短夜や針持つねやのひとりかな  
 雨漏りに馴れてうつくや明易き  
 田の畦に水掛け論や明易き  
 夜泣き兒に母の添乳や明易き  
 話し聲工女通れば明け易き  
 井戸端の桶に雀や明け易き

湖 紅 良 湖 同 鐘 紅 良 湖  
 晴 亭 果 樓 人 晴 亭 果 樓 人  
 耕 天 曉 同 良 湖 同 鐘 紅 良 湖  
 影 仙 女 人 亭 晴 亭 果 樓 人

## 正札堂の夏服

黒ヒルセビロ上下 六圓ヨリ  
 バンピースセビロ上下 八圓五十銭ヨリ  
 ポーラーセビロ上下 九圓ヨリ  
 ポーラー最上品三ツ組 拾八圓五十銭  
 白ズボン 七拾五銭ヨリ

## 正札堂洋服店

電話四三六

## 三井

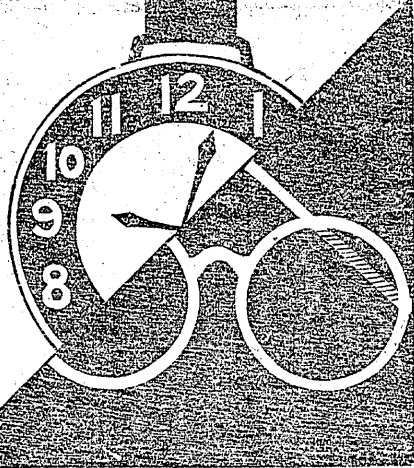
## タクシー

電話六八五番

お客様本位の……

## 正確な時計

平一常盤屋時計店



好適の眼鏡

御料 鹽豚

田町三二三三屋

電話三二三番

## 初夏の海に……

トモほがらかです  
 新緑と情熱の……  
 ローマンスと郷愁の海邊へ……  
 一日の清遊を  
 お試みになりませんか

尼子タクシー

電六四〇番

## 經濟優美

## 靈柩自動車

平町新川町  
 橋本屋造花店  
 電話一六三番

## 貸金

何人にも簡易に

即時御用立致します

國庫、勸業、復興債券、高級質札買入並金融、恩給、年金及簡易保險(前借失効可)即時立替、債券取立

御報次第店員參上秘密融通

平町南町(廿三夜側)

伊 東

セメント 磐城セメント株式會社

壁用材料 代理店 西村屋藥舗

ペンキ塗料 板ガラス 平町二丁目「電三」

### 李王殿下御通過

#### 三日朝の上り急行で

東北各地御視察中の李王殿下には御歸京の途次三日午前二時二十分平驛發急行にて御通過遊ばされるが隨員武官は梅村中佐であると

### 愈々自動車業者が

### ガソリン共同購入

#### 平支部で幹旋

縣自動車協會がガソリンの共同購入の爲め過般契約せる東京日本橋柏崎商會では從來一ガロンに付三十四錢のものを三十三錢にまた石油一斗罐二罐で三圓八十錢を三圓六十錢に値下したので同會平支部の自動車業者らはガソリンの値下に唯一の望みを掛けて居た折柄の事であり懸念された發火力消費料等に於いて最も經濟的である事を縣協會で試験されたので平支部員は今後益々同ガソリンの使用を見るであらうと

- 日野 橋本
- 新妻 杉本
- B組
- 佐藤 草野
- 小沼 吉田
- 大内 白土姉
- 土岐 村上
- 安延 白土妹

### 平校研究會

#### 出席訓導決定

平町各小學校にては来る十五日(尋六)及び十九日(尋五)第一小學校に於て同學年研究會を開くが各校の出席訓導は左記の如くである

- △第一 力丸莊之助 松本政夫 根本榮雄 鈴木康 瓜田壽 水竹仁
- △第二 佐藤信義 大須賀百世 米本實 熊谷保 高松本清美
- △第三 花澤武夫 吉田功 石田伸六郎 矢代常好

### 珠算競技會

#### 平第二小學校にては来る十九日午前八時より尋常科第五學年以上より五名宛の選手を出場せしめ珠算競技會を催す

### 平驛の取扱貨物

### 發着其に激減

#### 石炭が最高位

平町集散貨物の門戸をなす平驛貨物取扱の動態を見るに石炭は地元炭礦を控えてゐるだけに最高を占め大半は磐城發電所で消費され毎日三百トン内外で殊に最近増加し日に二十四五車の取扱ありその他は機關庫で一般賣炭商向きのもの尠くつぎは木材に次ぐ一般商品の取扱合計は發送四、二の取扱合計は發送四、二六トン到着一三、三九四トンあり昨年同期に比し發送五八六トン到着二、六〇六

### 磐中獎學會

#### 新役員決定

既報磐城中華學校篤志獎學會にては一昨二十九日午後一時より創立總會を開いたが出席者は

- 諸橋久太郎 阿部政右門 門 永山和平 酒井清 小宅嘉久 大内民恵

の諸氏で左の如く役員を決定した

- (會長)橋本文壽(副會長)齊藤榮一(幹事)松本志人 紺野忠

### 渡邊報知榮轉

報知新聞平支局長渡邊正一氏は今回富山支局に榮轉することになり後任者の着任を待ち来る九日頃に赴任の筈

### 産米チリ高

### 更に昂騰の氣配

平穀物検査所管内の産米取引値は最近に至りチリ／＼高の氣配を示し去る廿八日迄四等一俵八圓三十錢で取引されて居たものが廿九日に至り八圓四十錢に昂騰し八月頃迄は漸次高値を續けるものと見られて居る

### 志望調べ

平第二小學校にては此程尋常科第六學年以上四百五十九名の生徒に對し就職志望別を調査した處左の如く僅に二十四名のみで他は目的志望を答ひないと

- 商業二 交換手一二 戸内使用人七 雜業三

### 愛谷堰

#### あすは帝大生

石城郡好間村地内愛谷堰の工事は既報の如く四ヶ年の繼續事業として去る五月中竣工を見た郡内切つての大工事であつた爲め竣功後は同工事の視察人が連日詰めて居るが明日二日午後一時二十八分平驛着列車にて東京帝國大學工學部學生の

### 時局座談會

#### 田町青年分團で

田町青年分團會では明日二日午後六時より藤田女學校に於いて藤田榮助氏の滿洲視察講演會並に一般參會者に依つて時局座談會を開催するが入場無料で多數參會者を希望して居ると

### 鹿島農事改良

鹿島農事改良石城郡鹿島村役場では去る廿八日午後六時より各農家を召集し本年の田植並に養蠶に關する座談的會合を催し各人が意見を寄つて農事改良策に就いて協議したと

### 磐中休暇課題

磐城中華學校にては昨日午後一時より各學年學科主任會を開き全校生徒に對する今夏休中に於ける課題を左の如く決定した

- (一年)國語、漢文、數學、地理、博物(二年)國語、漢文、數學、東洋史、博物(三四年)國語、漢文、數學、圖畫、化學(五年)國語、漢文、數學、英語

### 學力調査

平の各小學校にては一學期の學力調査を左の如く施行する

- △第一 十二日(讀方)十三日(算術)十四日(雜問)
- △第二 十八日(讀方、算術、雜問)
- △第三 十八日(讀方、算術、雜問)

### 小池先生來平

#### けふ童話講演

雲龍幼稚園長小池先生は本日町各小學校に於て童話

をなし子供達を非常に喜ばる三日平發午後四時四十五分にて出發赴任すると

### 磐女夏休体育

磐城高等女學校校務部にては本日午後一時より校長室に於て各部長會議を開き今夏休中に於ける各部の練習方法及び縣下大會出場の豫算に就て協議した

### 蕪市況

植田市場 卅〇日  
△黃繭 三百三十八貫 最高二十六圓六十錢 最低二十五圓 買馴二十六圓 掛目廿一

### 平町人事

△柳町一九當時石城郡湯本町字關船五一山崎三郎氏 三男清次  
△新川町三當時茨城縣稻敷郡朝日村字荒川沖八二〇 丹野藤四郎氏五女ユリ子 回死 亡  
△立町五七當時朝鮮全羅北道全州大和町小野寺秀雄 (三ツ)

### 一冊の代金

#### 御希望通りな

### 五冊の雑誌

#### 自由に讀める

### 川崎文庫

電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

# 良好の大麥作

## 平町役場の調査

平町に於ける本年度麥作の收穫を最近町役場で調査したのによると二毛作に依る田地五町二反より百二十四石、畑地十九町歩より四百四十六石、合計五百八十八石の收穫を見たが作年度に於ける田地收穫は百二十五石、畑地より三百八十六石で田では一石の減收を見たが畑地では七十石の増收となり合計に於いては六十九石の増收を見たのは氣候の順調と充分なる施肥を行つた爲めである

## 迷兒の正坊

事なく歸る

石城郡好間村上好間字小館坑夫長屋五四號居住竹田富次郎の妻ヨシ(三〇)は昨卅日午後三時頃二男正男(五)と共に平町三丁目佐野屋商店で買物して居た際正男が行衛不明となつたので大騒となり平署に届出た處同日五時頃正男は長橋町高子教造方で保護を受けて居た事が判明した

# 傳染病豫防宣傳

## 平署でビラを配布

平署衛生係では傳染病豫防宣傳ビラを管内全村に配布し時節柄豫防に努めてゐるが宣傳ビラの内容左の如くである

- △飲食物等には最も注意を拂ひ暴飲暴食を慎む事
- △寢具等は可成日光に晒し衛生に怠らざる事
- △外出には最も注意を拂ひ帰宅後は口中をホーサン又は鹽湯等で嗽ひをする事
- △常に胃腸を完全ならしむる事
- △傳染病流行の非ある時は速に豫防注射を行ふ事
- △常に蠅の發生場所には石油乳劑其他の消毒薬に

## 格闘

遂に捕はる

石城郡大野村字八三三〇生れ佐藤好(三)は去る廿九日午前一時半頃茨城縣石岡町國分通りの岩間街道を新治郡園部村字東成精米業長吉川庫之助方より窃取した玄米五俵をリヤカーに積み運搬中密行中の石岡署員に發見され署員の母指、顔等に全治一週間の裂傷を負はし

## 吉田氏送別

平商友會で

昨報平商友會にては母校々長吉田利吉氏の轉任に際し幹部會を開いたが出席者二十餘名にて萬場一致記念品の贈呈並今晚午後七時より谷口樓に於て送別會を催す事に決定した

## 親父の金を掴み

女給と駈落ち

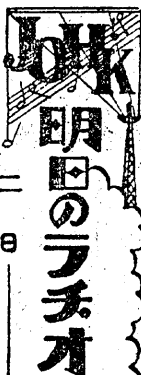
不運?途中で捕はる

石城郡大浦村字下仁井田佐藤親之長男己幸(三)は昭和五年明大商科を卒業後實家にあつて寄食中であつたが昨卅日朝八時頃家人の隙を見て父親の現金三百圓を持出して上京せんと平町に來りて豫てより通ひ詰めて居たカフエー花月の女給君子(二)に現金を見せて言葉巧みに同人を誘拐自動車にて四倉に行き四倉驛午後二時四十五分列車にて上京せんと平驛に到着した際男は平署員に取押られ女は同列車にて綴到着の際同く張込んで居た署員に取押られた

## 梅盛る

賣行き良好

石城地方は入梅明けて梅の實が出廻つてゐるが今年は不順の天候のため結實期に



報豫氣天 今晩も明日も北東の風晴たり曇り所に依り驟雨

## 今晚の部

- 後六〇〇 子供の時間 童謡劇「お伽繪本」長谷山 雛菊音楽會
- 後六二〇 コドモの新聞 極楽勇
- 後六二五 カレントトピックス ハロルドパーマー

- 後七三〇 講演「教育と映畫」山岸光宣
- 後八〇〇 清元「色彩間 莉豆」清元延壽太夫外
- 後八四五 獨唱と管絃樂 (新交響樂團練習所より 中繼) 日本放送交響樂團 獨唱藤原義江

## 明日の部

- 前九一〇 料理献立「鳥サラダトマト」詰朝倉長吉
- 前一〇三〇 婦人講座「婦人と舞踊」印巻季雄
- 後〇〇五 常磐津「常磐の老松」常磐津兼太夫外
- 後二〇〇 家庭講座「箏曲」(二三) テキスト賞演 解説宮城道雄 唄牧瀨數江
- 後六〇〇 子供の時間

## 花祭り

平第二で行ふ

平第二小學校にては來る七日午前八時より校長の提唱に依り花祭りを行ふ事になつたが當日は學藝會、童話會等あり初めての催しとして一般生徒達は今から非常に期待してゐる

## 失火、傷害等々

略式オンパレード

- ▼石城郡内郷村大字宮字平太郎三十二番地自動車運轉手谷前川福松(三)は本年五月十一日午後四時頃神谷村大字中神谷地内國道に於て疾走中小兒を避けんとして道路右端に在つたる坂本房義の荷車に衝突し同人を顛
- ▼倒せしめ治療七日間を要する傷害を與へ業務上過失傷害として罰金三十圓
- ▼同郡田人村大字黒田字寺下五十二番地果物商岡部今朝嗣(五)は本年十四日自宅前道路に於て鹽澤シモ(六)と口論の未同人の拒むに拘
- ▼双葉郡野村大字荻宿字南原下六番地農山田タツ(四)は去月八日午後八時頃背書自宅内の養蠶室に在りたる蠶火の始末をせず就寢した爲め之より火を失し住宅厩舎各一棟を焼失せしめ失火罰として罰金二十圓
- ▼石城郡川部村大字小川字佐倉五十九番地自動車運轉手芳賀熊次(三)は本年三月三日特定外なる貨物自動車運轉し自動車取締令違反

お話「伸びて太つて日に焦けませう」醫學博士三田谷啓  
後六二〇 コドモの新聞 極楽勇  
後六二五 カレントトピックス ハロルドパーマー

後七三〇 川柳漫談「東京病者」川上三太郎  
後八〇〇 地唄「鳥邊山」富崎春昇外  
後八二〇 義太夫「玉藻前囃子」竹本和昇外  
後八五〇 長唄「勸進帳」吉住小三藏外  
後九三〇 奉天より

平各校長出福 平町各中等學校校長は元本縣知事の送別會に出席の爲め今朝平發五時四十二分にて各々出張した

平職業紹介所報告  
求人部  
△染物外交員 廿五才 高卒 給料面談(平町某染物店)  
△女中 二十三才以下 八圓位(平町某料理店)  
△子守 十五才迄 尋卒 月三圓外面談(平町某)

求職の部  
△雑夫 四十九才 高卒 給料面談(栃木縣某)  
△下駄工 二十一才 尋卒 給料面談(内郷村某)  
△土工夫 三十九才 高卒 給料面談(田村郡某)  
△自動車助手 二十五才 高卒 給料面談(内郷村某)

# 幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉 演  
近藤 紫雲 畫

第九十席 眞庭念流達人櫻井五助

土産の折の中に耳

藤太郎は幸次初め子分が覺悟しろと斬込む物をともせず、只一人で四人を對手に斬結んだ。何しろ藤太郎は度胸が宜い、それが爲め白刃を見てもビクともしない。幸次の子分三人は重傷を負うて倒れた、これを見て幸次は南無三と氣が急立ちますから何うしても受身となる、踏込み、斬込む藤太郎、幸次は受損して頭上を割付けられアツと云つて其處へ倒れた、のしかつて

藤「何うだ此奴」とめちやめちやに斬つてしまつた。藤「態ア見る意久地の無えくせに藤太親分に双物三味をしゃアがつて、オヤ、三人も怪我したと見えて倒れてゐるナ、ドレ引揚げよウカ、待て此儘歸るにも智慧が無え、あの娘の處へ何か遺物を持つて行つて遣らう、ウン宜い事があるこれを持つて行つて遣れ」

倒れて居る幸次を引起して右の耳を切り、それを向ふに落ちて居る折の中へ入られて錦林に引返して來、したが亂暴な奴があるもの、

此方は幸次の女房おかね、家を綺麗に引附けて今に幸次が歸つて來るか、もう今は藤太郎は首になつたであらうと思ひながら亭主の歸りを待つて居るかね「大分更たやうだね、

と云ひながら考へて居るドンドン、戸を叩く音、藤「姐さん、ちよいと開けておんなさい」かね「今開けるよ大層遅かつたね」



オヤ雨が降つて來たよ何だか今夜は陰氣だね、陰氣にもなるだらうらさ、緑の下には生々しい佛様がゐるんだから思へば彼奴も氣の毒な奴さね、それにしても憎い奴はあの藤太、何うしたんだらう大層親分の歸が遅いぢやアないか」

かね「オヤさうでございませうかへー角屋へ行つて」藤「大層御馳走になりまして、是から親分と一緒に一晩浮氣をしようといふことになりましてそれに就ては姐さんも一人で淋しからうからこれを産に持つて行つてくれと云はれまして此

の折をお届け申します」かね「オヤさうでございませうか降る中を御苦勞さま」藤「どういたしまして、此の折の中の肴は些と喰べにくいと思ひますが我慢して食べておくんさいませう」

かね「何だね、藤太さん變だね」藤「何に別段變な物でもございませんデ、姐さん、又お目にかゝりますが左様なら」

藤太は歸つて行く、跡におかねが殺すと云つて出て行つた幸次が藤太郎と一緒に遊びに行くとは訝しい、一体この折の中には何かあるかと蓋を拂つて見るとそれにあるは幸次の耳血が附いてブヨ／＼して居る、成程これは食べにくいキオーツと云つておかねが飛上つた、處へうなりながら歸つて來たは子分三人蘇枒を溶びたやうに身体は眞赤になつて居る、脇差を杖にヒョロ／＼這つて來て子分「姐さん親分は殺されましたよ」

かね「幸次さんは斬られたかえ、まア口惜しいぢやないか、今ね藤太が此處へ來たよ」子分「へッ、藤太郎が來ましたと」かね「へんな物を土産に持つて來たが見ておくれ」出したは耳、子分も藤太郎の剛膽には驚き何も云ふ事が出來ない、呆氣にとられてゐる内に夜が明けると

一本松に幸次が殺されてゐてその上耳が無いといふ評判。此處の領主は秋元但馬守郡奉行より檢死が下りて檢べる、其時おかねは有金を懐中にして江戸を指して逃げる。怪俄をした子分三人は召捕られた。この喧嘩は幸次が詐欺賭博をしたが原因處で下手人の藤太郎も召捕れと手配をした、親分の火の玉の慶助がこれを聞いて

運動靴は……  
月星  
品質は斯界の王  
名入れ金具付きの  
サービス  
平田町  
大塚運動具部  
電話七七番

胃腸病藥の王座を占むる純漢法藥  
松前  
家傳  
靈効散(無効返)  
ホントに北海道で出來た靈藥が着荷致しました。今迄は福島市内で製藥したので兎角の批評がありました。今度のものは眞正のもので奏効確なものです。服用しなくては其の眞價が判りませんから、皆様見本品を差上げます。御遠慮なくいらつしやつて下さい。見本品でも二日間飲まれますから胃腸病に苦しむ方、惱病、心臓、痔疾の方は是非御試し下さい。クセにならず根治致します。小兒用の靈効散も出來ました。

靈効散  
地方代理店  
阿康藥舖  
電話四四番

漆器は共が専門  
品質の正確と!!!  
値段の破格と!!!  
在庫品豊富と!!!  
懸命の奉仕は!!!  
弊店のモットー!!!  
丸共榮漆器店  
平町三丁目北裏(元郵便局裏通り)  
各産産漆器  
専門卸小賣  
記念表彰品  
進物贈答品  
恩賜賞與品  
賞品景品類  
御注文應調製  
◎店員募集(十三才より二十三才まで)

## お醤油は……ヤマフル

醤油味噌  
たひら 正宗  
鯉節 食料品

鹽屋  
山崎合名會社  
福島縣平町(電話營業部二〇醸造工場三〇)  
明治生命磐城代理店 山崎與三郎